



# 平成 27 年 国 勢 調 査 人 口 等 基 本 集 計 結 果 要 約

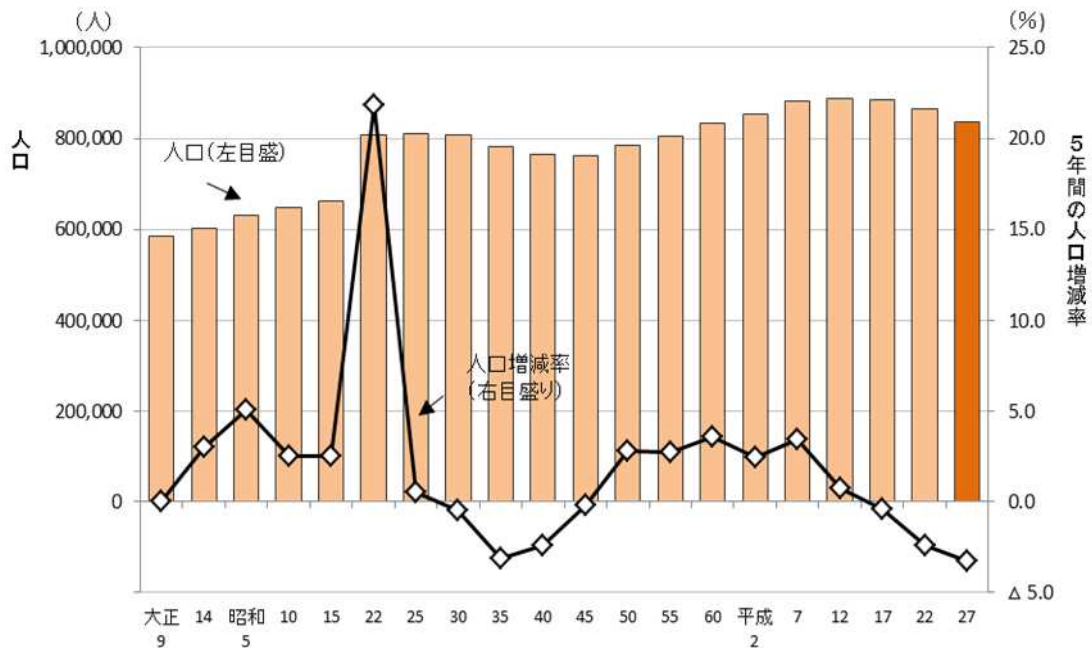
## 山梨県の人口

山梨県の人口は、834,930 人（平成 27 年 10 月 1 日現在）  
平成 17 年から減少に転じ、3 回連続で減少

- ・ 本県の人口は 834,930 人で、前回の国勢調査と比べると 28,145 人減少、減少率は 3.3%で調査開始以来最高
- ・ 男女別にみると、男性が 408,327 人(人口の 48.9%)、女性が 426,603 人(同 51.1%)と女性の方が 18,276 人多い
- ・ 平成 12 年には 888,172 人と調査開始以来最多となったが、平成 17 年からは減少に転じ、3 回連続の減少
- ・ 都道府県別にみると、本県の人口は 41 番目

(「山梨県の概要」1～3ページ)

図 1 人口及び人口の増減率の推移 - (大正 9 年～平成 27 年)



## 市町村の人口

### 昭和町、甲斐市、忍野村の3市町村で人口増加、24市町村で減少

- ・ 増加した市町村は3市町村(1市1町1村)、増加数が最も多い市町村は、昭和町(1,852人)で、次いで甲斐市(579人)、忍野村(333人)
- ・ 減少した市町村は24市町村(12市7町5村)、減少数が最も多い市町村は、甲府市(5,867人)で、次いで大月市(2,701人)、上野原市(2,309人)
- ・ 前は増加したが、減少に転じた市町村は、3市町村(南アルプス市、富士河口湖町、鳴沢村)
- ・ 前は減少したが、増加に転じた市町村は、1市(甲斐市)

(「山梨県の概要」4～6ページ)

図2 市町村別人口 - (平成27年)

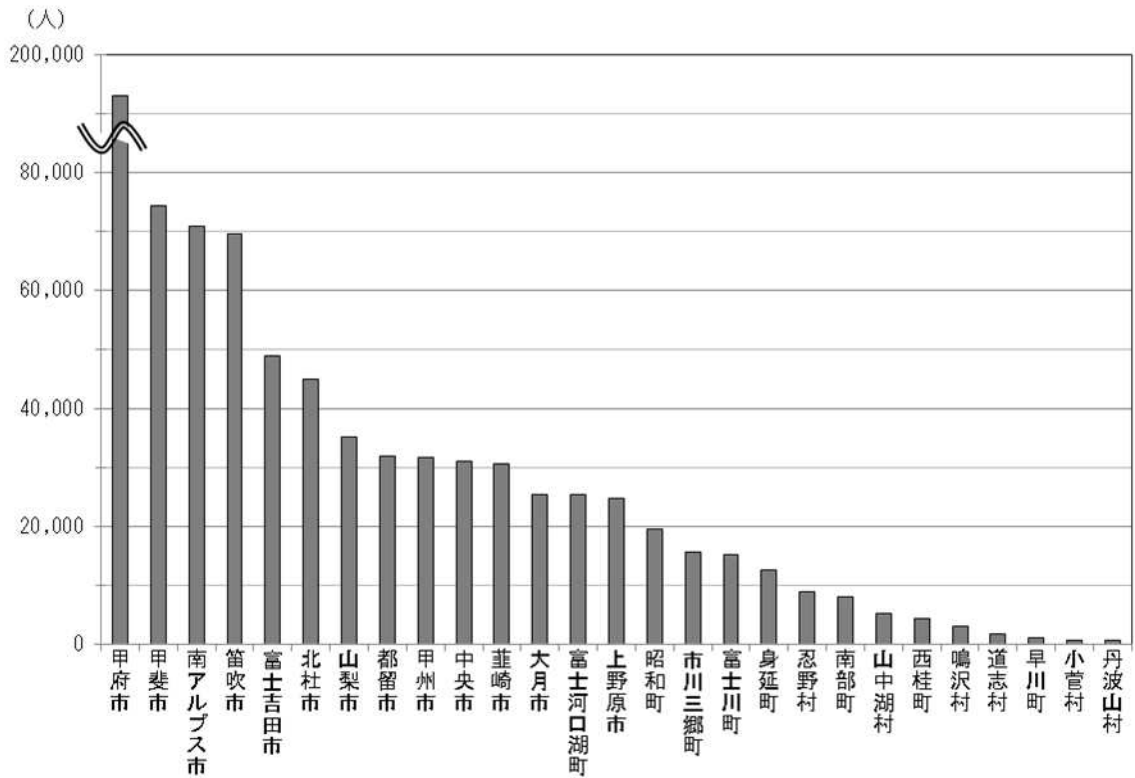
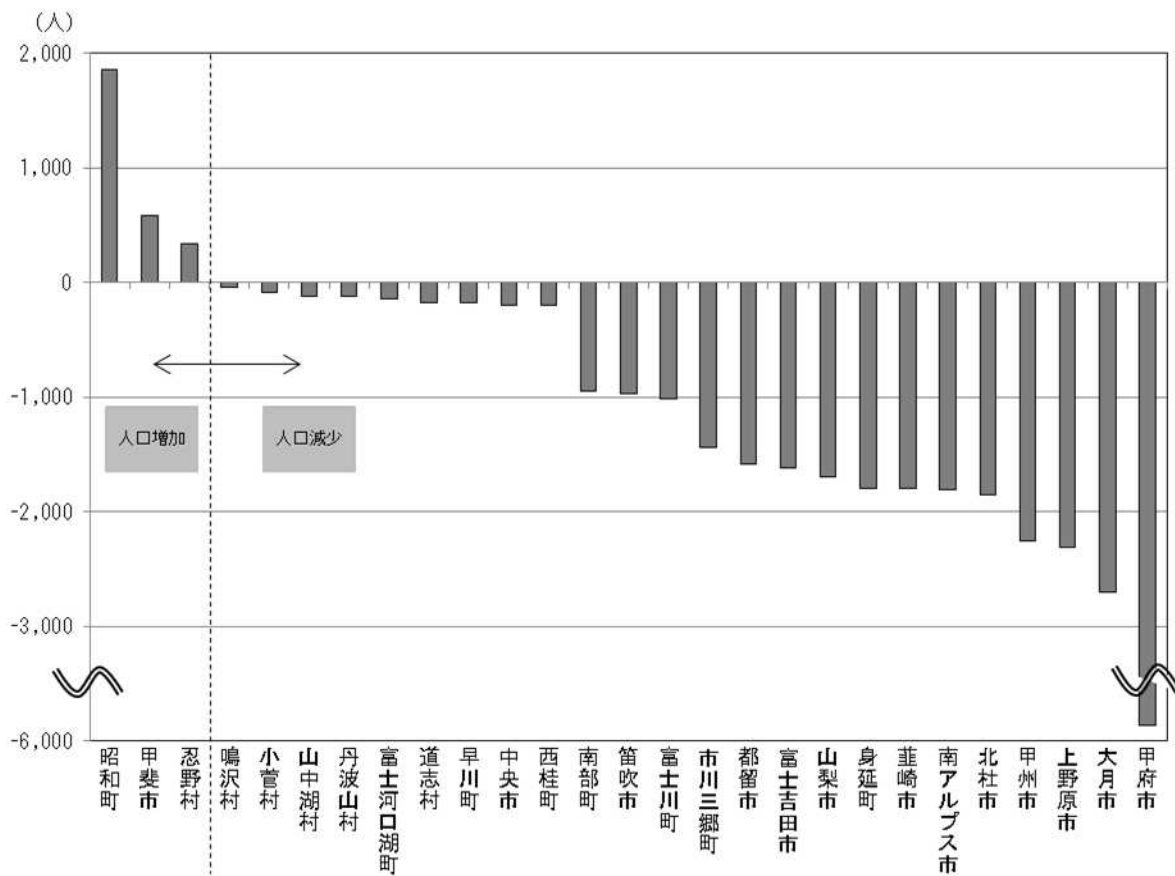


図3 市町村別人口の増減数 - (平成22年~27年)



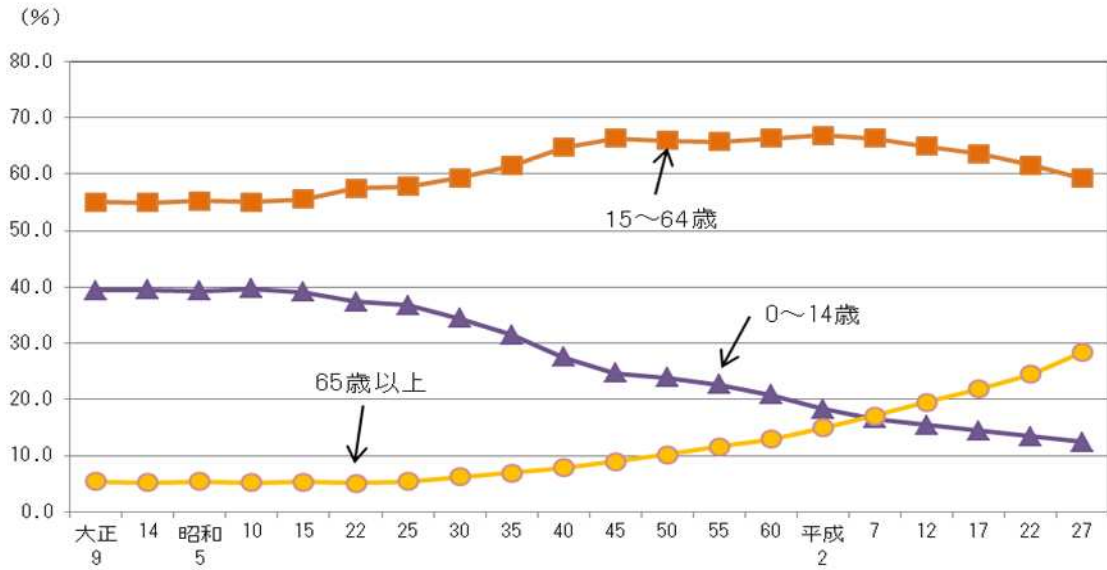
**年齢別人口**

15歳未満人口の割合は調査開始以来最低  
 65歳以上人口の割合は調査開始以来最高

- ・ 年齢3区分別にみると、15歳未満人口は102,270人、15~64歳人口は488,845人、65歳以上人口は234,544人
- ・ 割合を前回と比べると、15歳未満人口は13.4%から12.4%に低下、15~64歳人口は61.9%から59.2%に低下、65歳以上人口は24.6%から28.4%に上昇
- ・ 15歳未満人口の割合は調査開始以来最低、15~64歳人口は平成7年から5回連続で低下、65歳以上人口の割合は、調査開始以来最高

(「山梨県の概要」7~9ページ)

図4 年齢（3区分）別人口の割合の推移 - （大正9年～平成27年）

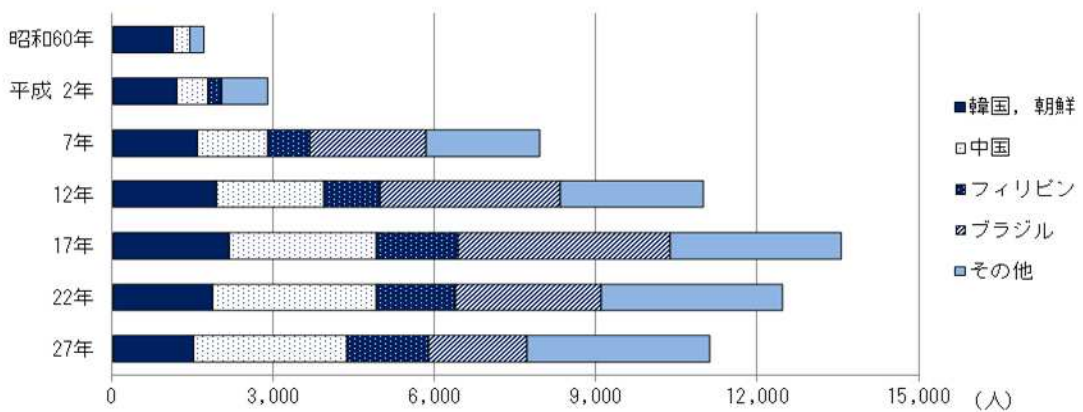


**外国人人口**

外国人人口及び割合とも、前回から減少に転じ、2回連続で減少

- ・ 本県の外国人人口は11,115人、前回と比べ1,369人減少し、減少率は11.0%で、本県人口に占める割合は1.3%となり、外国人人口及び割合とも、前回から減少に転じて、2回連続の減少
  - ・ 国籍別にみると、「中国」が2,839人（外国人人口の25.5%）と最も多く、「ブラジル」1,826人（同16.4%）、「フィリピン」1,542人（同13.9%）
- （「山梨県の概要」15～16ページ）

図5 国籍別外国人人口の割合の推移 - （昭和60年～平成27年）



## 世帯の状況

山梨県の世帯数は、330,976 世帯（平成 27 年 10 月 1 日現在）  
 1 世帯当たり人員は、2.52 人に減少し、調査開始以来最少

- ・ 本県の世帯数は 330,976 世帯、前回と比べ 3,255 世帯増加、増加率は 1.0%で、昭和 30 年から連続して増加しているが、平成 7 年以降、増加数、増加率ともに増加幅は縮小している。
- ・ 1 世帯当たり人員は 2.52 人、昭和 30 年以降連続して減少し、調査開始以来最少
- ・ 世帯人員別一般世帯の割合は、1 人の世帯が 29.5%と最も高く、次いで 2 人の世帯が 29.2%で、全体の 58.7%を占める

（「山梨県の概要」18～19ページ）

図 6 - 1 世帯数及び 1 世帯当たり人員の推移 - （大正 9 年～平成 27 年）

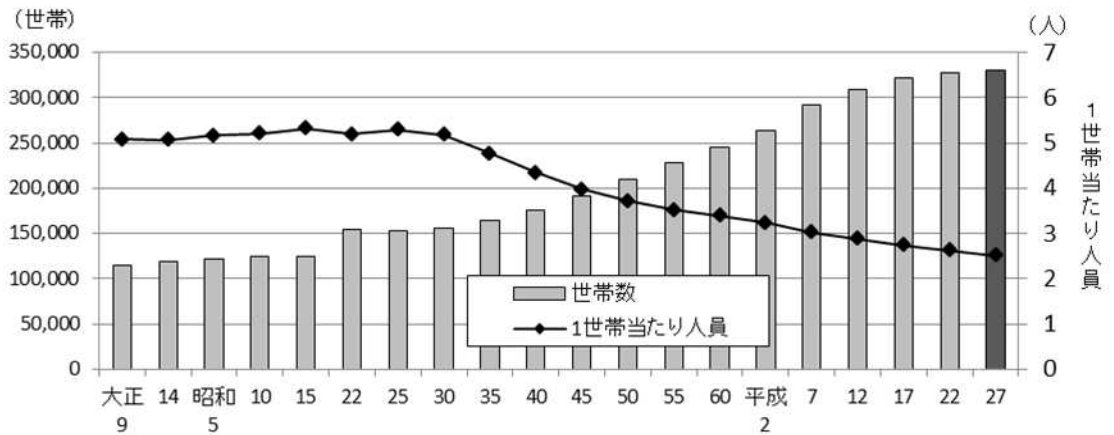


図 6 - 2 世帯人員別一般世帯の割合の推移 - （昭和 60 年～平成 27 年）

